

文字列の自動出力機能について

■ 概要

MxLogon2 には USB キー内に保存した文字列を自動的にアクティブウィンドウに出力する機能があります。

この機能は以下 2 つのプログラムで構成されます。

- A. 出力する文字列を USB キー内に設定/保存するプログラム
- B. 出力文字列が設定された USB キー接続時、キーから文字列を読み込み、アクティブウィンドウに出力する常駐プログラム

USB キーには 8 つの文字列（各約 200 バイト）を保存できます。

■ セットアップ

自動インストールされません。配布ファイルから手動でセットアップします。

配布ファイルの 32 ビット(x86)版、64 ビット版 (x64) フォルダ内に AutoEntry フォルダに 3 つのファイルがあります。

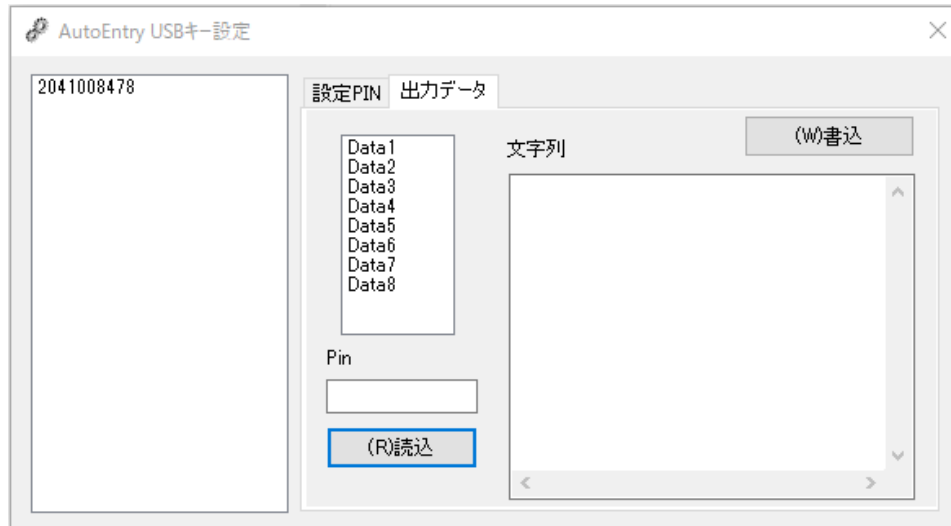
- 1. AutoEntry_Conf.exe(文字列を USB キー内に設定/保存するプログラム)
- 2. AutoEntry.exe(文字列をアクティブウィンドウに出力するプログラム)
- 3. AutoEntryHook.dll(文字列をアクティブウィンドウに出力するプログラム)

Windows のビットと一致するフォルダ下の AutoEntry.exe と AutoEntryHook.dll を MxLogon2 インストールフォルダ(%ProgramFiles%\¥RiBiG¥MxLogon2)にコピーして、AutoEntry.exe のショートカットをスタートアップに作成してログイン後に自動起動されるようにしてください。

文字列を USB キー内に設定/保存するプログラムは任意の場所に置き、ユーザが利用できるようにしてください。

A. 出力する文字列を USB キー内に設定/保存

1. AutoEntry_Conf.exe を起動します。



2. 左リストボックスで文字列を保存する USB キーを選択してから、どの領域 (Data1-8) に保存するのかが選択します。最後に領域の PIN を入力してから [読み] ボタンをクリックしてください。

既定 PIN は “12345678” です

3. データ領域からデータが読み込まれると、領域に保存されている文字列がテキストボックスに表示されます。既定では領域データは空です。

4. 文字列テキストボックスに出力文字を設定します。出力文字をそのまま指定したり、仮想キーコードを指定したりすることができます。これにより雑なキー操作の組み合わせも再現できます。

- a. 仮想キーコードは ¥02¥xx (xx は仮想キーコード) で指定
- b. ただし、仮想キーコードが x20 以下の場合、¥02 は省略可
- c. シフトキー (SHIFT, CTRL, ALT) は、¥02 を付けずに、それぞれ ¥10, ¥11, ¥12 で指定する。¥10, ¥11, ¥12 で押下、押下状態で¥10, ¥11, ¥12 を指定して解放する
- d. MENU キーは ¥02¥12 で指定
- e. 文字はそのままの文字を指定
- f. ¥05 でプログラム起動、¥05¥04 でプログラム強制終了+起動
- g. ¥06 でプログラム起動、終了まで待つ
- h. ¥07 で 0.5 秒待つ

例：

●設定文字列

username@mydomain.jp¥09password

○動作説明

“username@mydomain.jp”、[TAB]キー、“password”と出力

タブキーの仮想キーコード： ¥09 (= 0 x 09)

●設定文字列

username@mydomain.jp¥09password¥09¥0d

○動作説明

“username@mydomain.jp”、[TAB]キー、“password”、[TAB], [ENTER]

エンターキーの仮想キーコード： ¥0d (= 0x0D)

●設定文字列

¥05"notepad"

○動作説明

Notepad を起動

プログラム起動コード ¥05

●設定文字列

¥05¥04"notepad"

○動作説明

Notepad が起動していたら終了させてから、Notepad を起動

プログラム強制終了+起動 ¥05¥04

●設定文字列

¥05¥04""notepad" 'c:¥¥test¥¥memo.txt'"

○動作説明

Notepad が起動していたら終了させてから、Notepad を起動してファイル c:¥test¥memo.txt を読み込む

プログラムへのコマンド引数を与えるには、' でプログラム名を囲む

●設定文字列

¥05¥04"notepad"¥07¥07¥02¥12foc:¥¥test¥¥memo.txt¥0d

○動作説明

Notepad が起動していたら終了させてから、Notepad 起動、1 秒待ってから、(MENU)キー、F(ファイルメニュー選択)、o (ファイルオープン)、c:¥¥test¥¥memo.txt 入力後、リターン。

Notepad を起動してファイル c:¥¥test¥¥memo.txt を読み込む

0.5 秒待つ ¥07

[MENU]仮想キーコード¥02¥12

同じ動作は [MENU], F, CTRL+O, ファイル名入力でも可能なので、

¥05¥04"notepad"¥07¥07¥02¥12f¥11o¥11¥07¥07c:¥¥test¥¥memo.txt¥0d

と設定することもできます。¥11o¥11 で CTRL 押下、o, CTRL 解除になります。

CTRL 仮想キーコード ¥02¥11 又は ¥11

●設定文字列

¥05¥04"winword"¥07¥07¥07¥07¥07¥07¥07¥07¥07¥07¥0d¥07¥07¥02¥12fo¥07o¥07c:¥¥test¥¥word.docx¥0d

○動作説明

Word が起動していたら終了させてから、Word を起動、6 秒待ってから、[Enter]キー、1 秒待つ、MENU キー、F(ファイルメニュー選択)、o (ファイルオープン)、0.5 秒待つ、o (ファイルオープン)、0.5 秒待つ、c:¥¥test¥¥word.docx 入力後、リターン。

省略形：

¥05¥04"winword"¥07x0c¥0d¥07¥07¥02¥12fo¥07o¥07c:¥¥test¥¥word.docx¥0d

¥07 に続けて x** (**は 2 桁の 16 進文字) とすることで、繰り返しを指定できます。¥07x0c = ¥07 を 12 回繰り返す (6 秒待つ)

¥07 の後に “x”文字を出力したい場合には使えません。

- ◎ 設定可能な文字数が限られています。PATH 環境変数を設定してファイル名だけでプログラム起動ができるようにする、省略形を使うなどして、文字数制限ないに収まるように工夫してください。

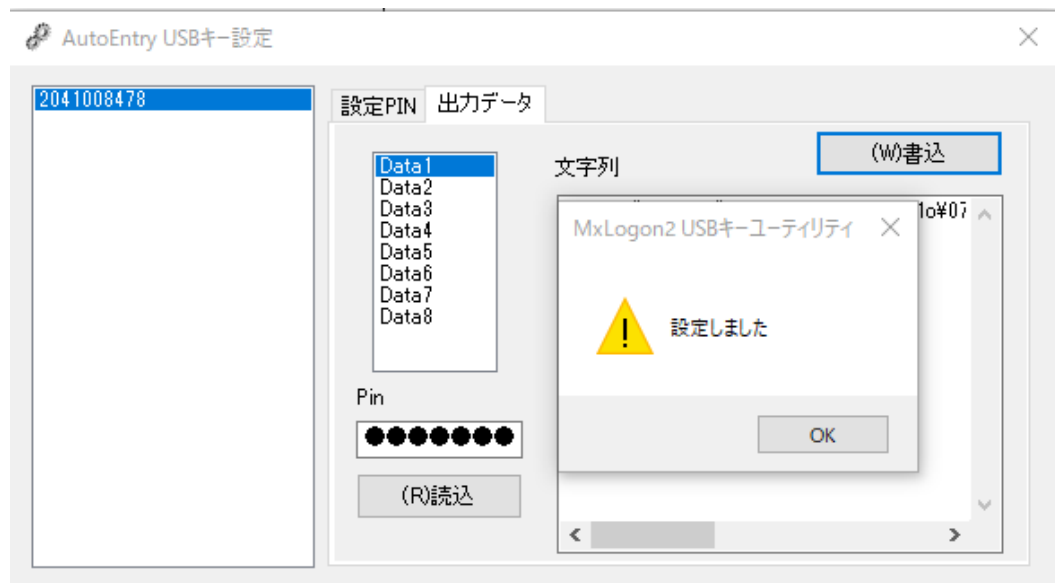
5. 文字列設定後、指定領域に書き込みます。書き込むには設定 PIN を指定する必要があります。[設定 PIN]タブを選択して、設定 PIN を入力してください。

既定の設定 PIN は 12345678 です。

既定の設定 PIN のままになっていると、誰でも領域データを変更できてしまいます。必ず別の設定 PIN に変更するようにしてください。変更するには、現在の設定 PIN、新規設定 PIN を 2 回入力してから[(N)設定]ボタンをクリックします。

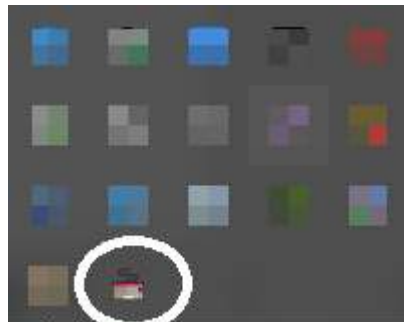
6. 設定完了

PIN を指定して文字列を書き込みます。文字列書き込み時に指定する PIN は暗号化パスワードの一部となります。書き込み時に指定した PIN を読み込み時の PIN として設定します。文字列に問題がなければ書き込みは成功します。



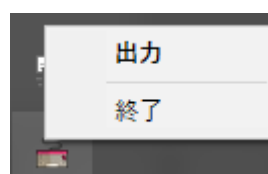
B. USB キーから文字列を読み込み、アクティブウィンドウに出力する

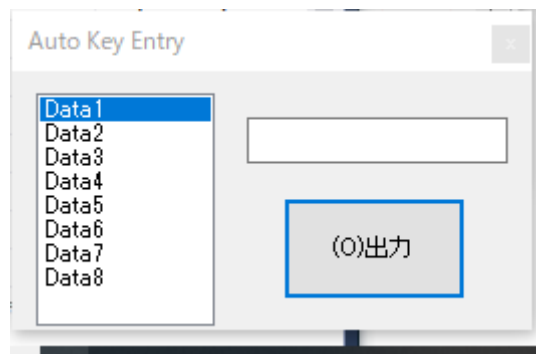
Autoetnry.exe を起動します。スタートアップに登録してログイン後、自動起動させると便利です。



起動するとアイコンがタスクトレイに現れます。

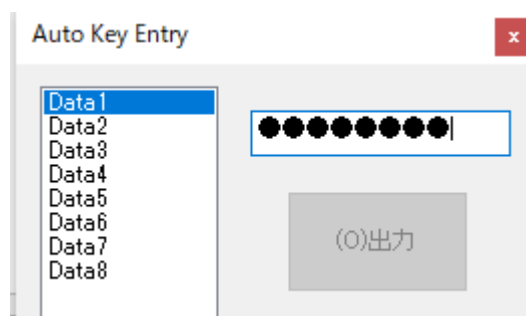
右クリックでメニューが表示されたら、“出力”を選択すると画面右下にウィンドウが表示されます。





出力文字列を含む領域選択、PIN 設定後、[出力]ボタンをクリックしてください。クリックしてから 5 秒後にキー出力が開始します。それまでに文字列出力の対象となるテキストフィールドをキー入力できる状態にしてください。プログラムが起動されるような場合で、文字列出力の対象となるテキストフィールドが不要の場合、何もする必要はありません。

出力が開始すると [出力]ボタンがグレイアウトされ、出力が終了するとウィンドウは自動的に閉じます。



プログラムを終了するには、右クリックでメニューが表示されたら、“終了”を選択してください。